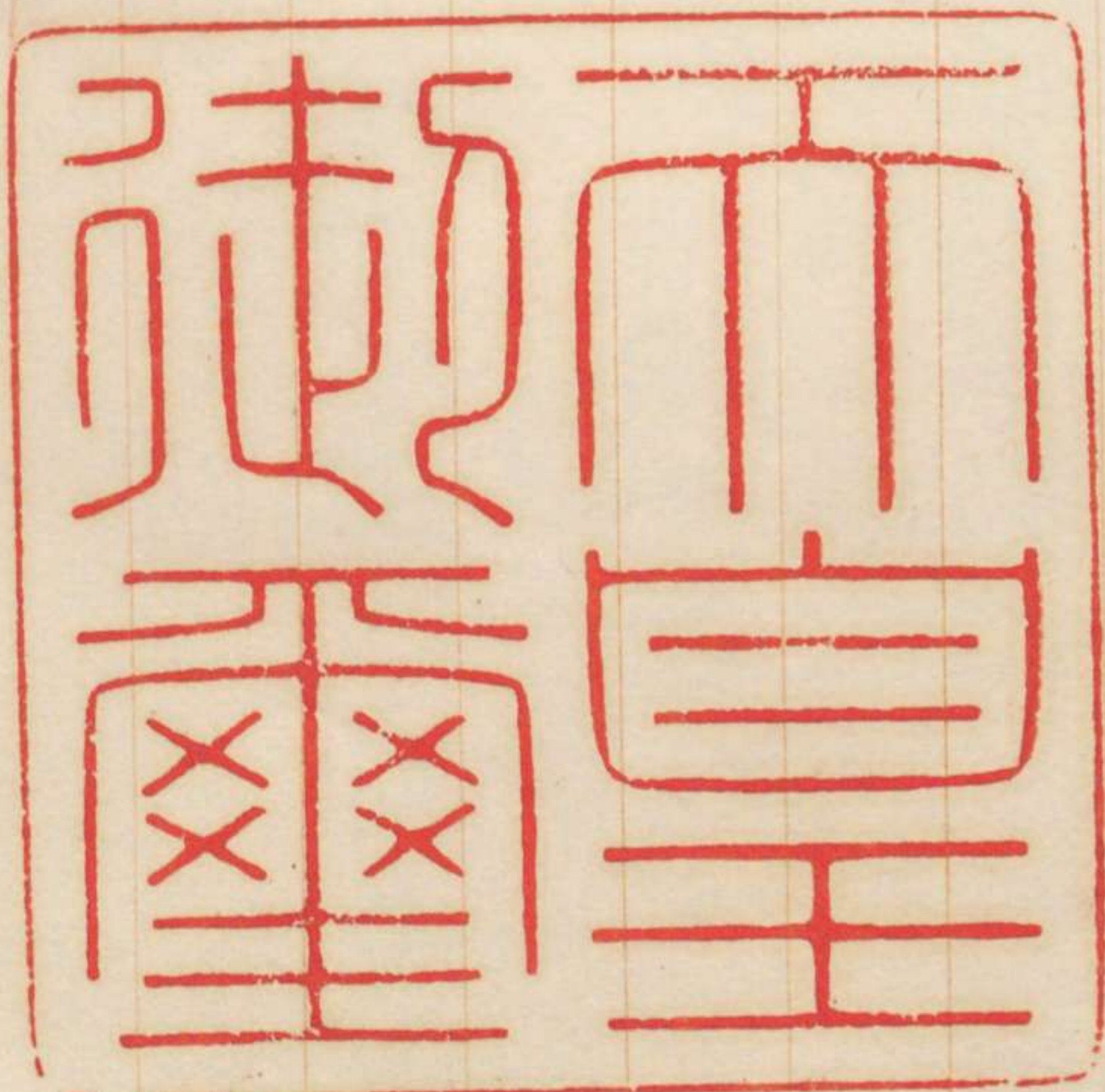


勅令卯二白字一少

尚

朕潜水艇隊條例制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

睦仁



明治三十八年十二月十一日

内

局



海軍大臣男爵山本權兵衛

勅令第二百六十一號

潜水艇隊條例

第一條 鎮守府及要港部ニハ必要ニ應

シ潜水艇隊ヲ置ク

潜水艇隊ハ潜水艇二隻以上ヲ以テ編

制ス

第二條 潜水艇隊ニ左ノ職員ヲ置ク

司令

機關長

前項ノ外必要ニ應シ潜水艇隊附トシ

テ將校同相當官及下士卒ヲ置クコト
ヲ得

第三條 司令ハ所屬長官ノ命ヲ兼ケ潜

水艇隊ヲ指揮シ部下ヲ董督訓練シ軍

紀風紀ヲ維持シ兵備ヲ監理シ及隊務

ヲ掌理ス

第四條 司令ハ第二條ニ掲クル職員ヲ

部下ノ潜水艇ニ分乗セシムルコトヲ

得又教育訓練上必要ト認ムルトキハ

部下ノ甲潜水艇ノ乗員ヲ臨時乙潜水

艇ニ乗組
トヲ得

第五條 司令又ハ事故アルトキ

ハ所在部下
長席次ノ順序ニ從ヒ

其ノ職務ヲ
但シ特ニ代理者ヲ

置キタル場
此ノ限ニアラス

第六條 司令
指定ヲ受ケタルト

キノ外部下
艇中ニ就キ自己ノ乗

艇ヲ定ム

第七條 司令ハ部下ノ職員缺員中又ハ

事故アルトキハ他ノ部下職員ヲシテ



テ將校同相當官及下士卒ヲ置クコト
ヲ得

第三條 司令ハ所屬長官ノ命ヲ兼ケ潜
水艇隊ヲ指揮シ部下ヲ董督訓練シ軍
紀風紀ヲ維持シ兵備ヲ監理シ及隊務
ヲ掌理ス

第四條 司令ハ第二條ニ掲クル職員ヲ
部下ノ潜水艇分乗セシムルコトヲ
得又教育訓練要ト認ムルトキハ
部下ノ甲種員ヲ臨時ニ潜水

艇ニ乗組マシムルコトヲ得

第五條 司令缺員中又ハ事故アルトキ
ハ所在部下ノ艇長席次ノ順序ニ從ヒ
其ノ職務ヲ代理ス但シ特ニ代理者ヲ
置キタル場合ハ此ノ限ニアラス

第六條 司令ハ特ニ指定ヲ受ケタルト
キノ外部下潜水艇中ニ就キ自己ノ乗
艇ヲ定ム

第七條 司令ハ部下ノ職員缺員中又ハ
事故アルトキハ他ノ部下職員ヲシテ



其ノ職務ヲ執行シ又ハ代理セシムル
コトヲ得

第八條 機關長ハ司令ノ命ヲ承ケ機關
船體及兵器ニ關スル事ヲ掌リ潜水艇
乗組機關官ノ職務ヲ監督ス

第九條 第二條第二項ニ掲クル將校同
相當官以下ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務
ス

第十條 潜水艇隊ニ編入中ノ潜水艇ニ
ハ各別ニ海軍艦船條例第三十五條第

三十六條ノ職員ヲ置カスシテ一隊ヲ
通シ潜水艇隊職員トシテ之ヲ置クコ
トアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ司令其ノ配員ヲ
掌ル

第十一條 艦隊其ノ他ニ潜水艇隊ヲ附
屬ヤシムルトキハ其ノ職員及其ノ職
務ニ關シテハ本令ヲ適用ス



内

外